

進捗状況の概要【1ページ】

本事業を推進するため、学長・副学長等の教学役職者、法人役員、事務局の部長職等で構成する国際連携本部を設置した。学長が本部長となり、本事業の企画・推進・進捗に関する情報の集約及び諸課題を検討し、推進の指針を示している。また、この本部構成員に加え、全学部長、研究科長及び各事務局の管理職など総勢 65 名からなる国際連携推進委員会及び各部会を設置し、構想調書記載の目標を達成すべく鋭意活動している。さらに、国際教育センターに新規に 3 名の専任教員を国際公募により採用し、大学全体のグローバル教育の推進を担う体制を整備した。このような体制のもと、平成 28 年度の達成目標については、各項目において概ね達成できている。

○ 学部等の再編による新たな教育体制の構築

本学のグローバル化を牽引するため、平成 31 年度に「グローバル・イノベーション学部（仮称、入学定員 100 名）」を開設する予定であったが、計画を 2 年前倒し、平成 29 年 4 月に国際学部グローバル・イノベーション学科（新設）及び国際地域学科（改組）を白山キャンパス内に開設した。また、国際観光学部（改組）及び情報連携学部（新設）も同時に開設し、この 3 学部のグローバル化に対する取り組みや学生の活動をはじめとして各学部の特色を活かして全学のグローバル化が展開されている。

○ 英語による授業科目数・割合

平成 28 年度的全授業科目に対して英語で行う授業科目の割合は 8.6% となり、目標値 6.8% を上回ることができた。新任教員の採用条件に英語運用能力を課している他、学長室及び国際教育センターによる FD 講座（英語による教授法）を実施する等、在職中の教員へのフォロー体制も整えている。

○ Toyo Global Leader (TGL) プログラム、E ポートフォリオシステムの全学展開

GGJ 事業の ESP (English Special Program) 副専攻をモデルとして、本学が求めるグローバル人材に必要な能力を 7 つの要件に定めた TGL プログラムに全学部の学生が取り組んでいる。TGL プログラムの基幹ツールとして E ポートフォリオ機能を拡充し、個々の学生について、留学を含めた学修歴、英語力判定、TGL プログラムの進捗などを蓄積・管理している。学修成果やグローバル化への取り組みが可視化されたことにより、学生個人の振り返りやきめ細やかな指導に活用されている。

○ IDI・異文化適応能力講座の実施

海外派遣学生の異文化適応能力の変化を測定する目的で、Intercultural Development Inventory (IDI : 異文化適応診断) テストを留学前後で実施し、学生に内省の機会を設けている。単に留学に行き終わらせるのではなく、振り返りを行うことで留学の成果の浸透を図っている。

○ 留学生の受け入れ強化と支援態勢の整備

新学部・新学科の設置認可後（平成 28 年 6 月末）、海外での学生募集活動（留学フェア参加、現地高校訪問等）を積極的に実施した。キャンパス内の国際化を目的に、海外から優秀な留学生を獲得するため、新たにフルスカラーシップ制度を創設し、入試合格発表時に奨学金支給可否を伝達した。また、新規に学生寮を借り上げ、住環境を整備した。海外から直接入学した留学生がスムーズに日本での生活や就学ができるよう、コーディネーターを 2 名配置し、生活オリエンテーション、住民登録及び銀行口座開設など各種サポートを行なった。海外からの直接入学者を増やすために、HP や SNS 等の情報配信を英語で行うとともに、学内サインや主要印刷物も日英併記に順次改めた。

○ 国際通用性を見据えた人事制度改革

事務職員採用にあたっては、語学力の高い人材や国際化業務に精通した人材など、新卒から中途採用まで幅広く採用している。また、国際通用性を見据えた研修制度の整備も進み、学内外での語学研修に加え、海外の協定大学で 2 週間から 3 ヶ月間にわたる業務研修や 1 年間の国連事務局への派遣（ジュネーブ）を実施し、語学力のみでなく、大学の国際化を推進しうる能力全般の向上を支援している。

○ 事業会社設立に向けた準備

「持続可能な教育プラットフォームの構築」を目的として、平成 29 年に事業会社の設立を目指し、既に小学生向けの英語講座など収益が期待できる事業を開始している。リサーチ会社によるアンケート調査やマーケティングを実施し、収益構造モデルを「事業計画シナリオ」として確立して設立準備を進めている。収益事業と寄附行為との関係、事業目的の策定等に取り組み、法人役員への趣旨説明及び調整を行い、既存の大学出資会社との業務重複がない形での定款・目的の確定作業を行なった。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

○ ダイバーシティ強化への取り組み

全教員に占める女性教員の割合は26.3%に向上し、平成29年4月1日現在では、副学長1名、学部長2名、大学院研究科長1名が女性教員である。また、全職員に占める女性職員の割合は49.9%となり、同様に、部長・次長職に8名の女性職員が就き、着実にダイバーシティ強化への取り組みが進んでいる。

○ 教育プログラムの国際通用性向上

①全科目（学部5,362科目、大学院2,828科目、合計8,190科目）のナンバリング化、②シラバスの英語化、③8学部でクォーター制度の導入、④GPAの平成30年度入学生からの卒業要件化など、国際通用性を高める制度設計に取り組んだ。また、本学は平成28年1月よりUMAP（University Mobility in Asia and the Pacific；アジア太平洋大学交流機構）国際事務局に任命され、単位互換システムUCTSのガイドブックを制定に携わるなど、質保証を伴った教育交流の推進に貢献している。

○ 海外学習・国内留学の機会の多様化
従来の交換留学に加え、授業料支払型やブリッジ・プログラム（英語学習と正課履修の組み合わせ）型の協定校開拓を進め、多様な長期留学制度を構築してきた。併せて海外留学促進奨学金の充実に努め、外国語のコミュニケーション能力を表す指標CEFRを用いて、英語だけでなく各言語能力に応じた奨学金を支給できるよう規程を改定した。また、高度な英語運用能力が求められる国連ユースボランテア（4年連続選抜）やワシントンセンターにおけるインターンシップ（3年連続選抜）など、選抜型プログラムへの参加実績が定着している。「官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学 JAPAN」でも通算16名が選抜され、その中からは優秀賞・アンバサダー特別賞のダブル受賞者や審査員特別賞の受賞者も誕生している。一方、国内留学として、テンプル大学ジャパンとの相互科目履修協定を結び、3年間で16名の学生を派遣している。

○ 多面的入学者の選抜等の積極的な入試改革

平成28年度より英語外部試験利用型入試を全学部で一斉に導入するなど入試改革を積極的に進めてきた結果、一般入試志願者が10万人を突破した。多面的な入学者選抜にも取り組み、平成27年度より国際バカロレアA0入試を全学部で導入した。また渡日前入試への対応として、検定料等のクレジットカード決済や現地と本学とをインターネットで結び面接を実施するなど、志願者の利便性が向上した。

○ フルスカラシップの創設による渡日前入試制度の拡充

学費全額免除に加え生活費として月額15万円を支給するフルスカラシップを創設し、渡日前入試で38名の優秀な留学生を受入れることが出来た。重点的に学生募集活動を行ったベトナム、インドネシア等から多くの出願があり、特に、国際学部グローバル・イノベーション学科は全ての授業を英語で行うため、多くの留学生から志願を集めた。英語トラック設置学科に入学する学生に対しては、入学時点で日本語能力を求めているが、日本での生活や国内での就職等を見据えて、入学前教育としてオンライン日本語講座等を実施した。海外から直接入学する学生は3月下旬に一斉来日したが、3名のスタッフがサポートに回り、借上げ宿舎への入寮を完了することができた。

○ 全5キャンパス及び3つの附属中学・高等学校における国際化環境整備

これまでの本学の国際化は、文系6学部の学生が就学する白山キャンパスを中心に進んでいたが、全5キャンパス及び3つの附属中学・高等学校に国際交流スペースを設けたほか、英語ネイティブの講師を配置して授業の空き時間に毎日英会話を学ぶ「Toyo Achieve English」及びライティング指導を行なっている。

○ 全世代グローバル教育の実施

学内で実施している英会話講座「Toyo Achieve English」を学外にも開放し、ジュニア英会話講座や社会人向け英会話講座を提供することで、小学生からシニアまで全世代へのグローバル教育を実施している。受講生は、前年度102名から168名へと66名増加。講座は少人数教育を徹底し、講師1名に対し受講生を4名までのクラスと講師1名に対し受講生1名のクラスとで編成され、受講生の英語力向上に寄与している。

○ アジア太平洋大学交流機構（UMAP）国際事務局に就任

平成28年1月より5年間、UMAP国際事務局を本学が務めることになり、アジア太平洋地域の高等教育レベルにおける交流促進のハブ的な役割を果たしている。国際事務局就任後、国内外でプロモーションを実施し、新規に国内6大学、海外13大学の加盟を得た。平成29年4月から、UMAPを通じて日本から海外へ留学をする学生および日本に留学をする学生に対し、月額8万円の奨学金枠の新設を文部科学省および日本学生支援機構が決定し、平成29年3月10日（金）に本学白山キャンパスにて説明会を実施した。